



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,932	4.1	42	△3.2	23	△45.5	19	△35.0
25年3月期第3四半期	3,779	2.3	44	124.0	42	—	30	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 47百万円(87.4%) 25年3月期第3四半期 25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	1.62	—
25年3月期第3四半期	2.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,969	901	17.5
25年3月期	4,860	854	17.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 871百万円 25年3月期 824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	4.4	55	△26.1	27	△62.4	20	△61.1	1.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	12,317,000株	25年3月期	12,317,000株
26年3月期3Q	47,478株	25年3月期	47,128株
26年3月期3Q	12,269,716株	25年3月期3Q	12,270,631株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策及び金融政策の効果等を背景に、輸出環境の改善や各種政策等によって、生産も緩やかな増加傾向にあり、家計所得や投資の増加により、景気回復への期待が高まっております。しかしながら、くすぶる中国の金融不安や新興国の不安定な経済動向及び日本国内も消費税増税後の景気減速懸念等で当面は不透明な状況となっており、先行きへの慎重な見方からいまだ力強さに欠ける状況となっております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向けは、住宅ローン減税、低金利融資の継続、贈与税非課税枠の特例措置等の住宅取得促進政策に加え、消費税増税前の駆け込み需要等から新設住宅着工戸数が前年に比べ増加となり、堅調に推移しております。その一方で、昨年来からの円安の進行により、中国からの輸入商品の仕入コストが大幅に上がっており、採算を圧迫いたしました。また、電気・輸送機器向事業のうち電気向は、需要家の海外移転や欧州の景気停滞の煽りで低迷し、輸送機器向も中国向け完成車・部品の輸出が落ち込む等、厳しい事業環境が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,932百万円(前年同四半期3,779百万円、4.1%増)の増収となりました。営業利益は、電力料・外注加工費等の製造コストや輸入商品の仕入コストの増大により、42百万円(前年同四半期44百万円)となり、経常利益は、23百万円(前年同四半期42百万円)となりました。四半期純利益は、特別損失1百万円、法人税、住民税及び事業税2百万円等により、19百万円(前年同四半期30百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、総体的に需要は堅調に推移しました。しかし、原材料価格や円安による輸入商品の値上がり分を販売価格に転嫁できなかったことにより、収益率が大幅に下がりました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.0%増の3,139百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ21百万円減少し、168百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、昨年来の円高修正により、需要家の現地調達及び海外シフトが一段落しましたが、当事業向の需要は減少しました。その結果、当事業の売上高は、前年同期比2.9%減の793百万円となり、セグメント利益は13百万円(前年同四半期は0.5百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,969百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比108百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ57百万円増加し、2,884百万円となりました。これは建設・梱包向が需要の伸びを背景に、受取手形及び売掛金が、105百万円増加し、たな卸資産のなかで商品及び製品が54百万円増加しましたが、現金及び預金が97百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ51百万円増加し、2,085百万円となりました。これは有形固定資産が、設備投資108百万円に対して減価償却費が98百万円であったことにより10百万円増加し、また、投資有価証券が第3四半期連結会計期間末の株価の上昇により、42百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ60百万円増加し、4,067百万円となりました。流動負債は、前年度末に

比べ55百万円増加し、2,886百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が66百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ5百万円増加し、1,181百万円となりました。これは退職給付引当金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、901百万円となり、前年度末に比べ47百万円増加しました。これはその他有価証券評価差額金、投資有価証券の時価の上昇により、前年度末に比べ27百万円増加し、四半期純利益が19百万円であったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.0%から17.5%となり、1株当たり純資産は67.17円から71.00円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に発表した平成26年3月期の通期連結業績予想は、本日平成26年2月7日に修正いたしました。売上高は、建設・梱包向及び電気・輸送機器向共に予想を上回る見通しであります。また、原材料・電力料等の製造コストや物流費用等の増加分や、円安による輸入商品価格の大幅な値上がり分を販売価格に転嫁できない状況が続いており、利益面では非常に厳しい見通しであります。今後とも、更なるコストの削減と販売価格の改善に最大限の努力を図っていく所存であります。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

第4四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

#### (建設・梱包向)

主たる需要先である住宅の着工戸数は、平成25年暦年で98万戸、前年比11.0%増となりました。景況感の改善に加え、ローン金利や資材価格の先高観が個人の住宅取得を後押ししたと考えられ、今春の消費税の増税をにらんだ駆け込み需要も住宅着工を押し上げる要因となっております。また、主原材料の線材や電力料の値上げの影響や、円安による輸入商品の輸入コスト増もあり、販売価格の値上げが急務となっております、最大の課題であると認識しております。今後とも、販売価格の改善と、当社の特許品である「木割れ最強釘」及び輸入商品等の拡販を図り、新製品開発にも取り組んでまいります。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、昨年来の円高修正による影響で、顧客の海外調達への新たな動きは止まり、海外生産の動きも一段落の状況となっております。このため、当事業向売上げは、横這いの状況にあります。東北での自動車関連の事業の動きとして、自動車メーカーや一次部品メーカーが、部品調達にあたり、2015年モデル(2014年立ち上げ)への地場サプライヤーの起用を幅広く進めており、今後の需要の取り込みが期待できる状況となっております。また、現行の締結部品類製造に加え、輸送機器向けを主体に、高付加価値機能部品の製造を行う多段冷間圧造設備を導入することにより、売上増と収益の改善を見込んでおります。

以上のことにより、当連結会計年度(平成26年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,300百万円、連結営業利益55百万円、連結経常利益27百万円、連結当期純利益20百万円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	585,559	488,014
受取手形及び売掛金	1,295,344	1,400,965
商品及び製品	540,604	595,151
仕掛品	178,271	161,993
原材料及び貯蔵品	203,584	216,713
繰延税金資産	1,291	1,995
その他	25,925	23,610
貸倒引当金	△4,265	△4,428
流動資産合計	2,826,316	2,884,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,700	561,823
機械装置及び運搬具(純額)	465,409	456,934
土地	793,421	793,421
その他(純額)	20,458	60,515
有形固定資産合計	1,861,989	1,872,694
無形固定資産		
ソフトウェア	9,583	6,383
その他	15,134	13,740
無形固定資産合計	24,718	20,123
投資その他の資産		
投資有価証券	100,494	142,537
その他	70,969	73,687
貸倒引当金	△23,582	△23,404
投資その他の資産合計	147,882	192,821
固定資産合計	2,034,590	2,085,639
資産合計	4,860,906	4,969,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,979	956,751
短期借入金	1,690,174	1,727,669
未払法人税等	13,081	1,915
賞与引当金	35,028	15,678
その他	203,182	184,518
流動負債合計	2,831,444	2,886,532
固定負債		
長期借入金	1,010,977	1,000,609
繰延税金負債	605	15,568
退職給付引当金	136,375	144,511
役員退職慰労引当金	24,965	17,951
資産除去債務	2,529	2,555
固定負債合計	1,175,453	1,181,195
負債合計	4,006,897	4,067,727
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	170,560	190,437
自己株式	△2,898	△2,923
株主資本合計	823,059	842,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	28,175
その他の包括利益累計額合計	1,096	28,175
少数株主持分	29,852	30,838
純資産合計	854,008	901,926
負債純資産合計	4,860,906	4,969,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,779,327	3,932,973
売上原価	3,108,616	3,263,990
売上総利益	670,711	668,983
販売費及び一般管理費	626,629	626,320
営業利益	44,081	42,662
営業外収益		
受取利息	24	63
受取配当金	898	1,005
受取賃貸料	4,950	8,572
技術指導料	5,010	—
保険解約返戻金	18,539	—
その他	7,509	5,720
営業外収益合計	36,930	15,360
営業外費用		
支払利息	31,489	28,666
その他	6,820	6,088
営業外費用合計	38,309	34,754
経常利益	42,702	23,268
特別損失		
固定資産除却損	9,671	64
ゴルフ会員権売却損	—	1,666
特別損失合計	9,671	1,731
税金等調整前四半期純利益	33,031	21,537
法人税、住民税及び事業税	5,384	2,101
法人税等調整額	△507	△1,427
法人税等合計	4,877	673
少数株主損益調整前四半期純利益	28,154	20,863
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,426	986
四半期純利益	30,580	19,876



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,154	20,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,574	27,079
その他の包括利益合計	△2,574	27,079
四半期包括利益	25,579	47,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,002	46,956
少数株主に係る四半期包括利益	△2,422	986

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,962,563	816,764	3,779,327	—	3,779,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	4,112	4,188	△4,188	—
計	2,962,639	820,876	3,783,515	△4,188	3,779,327
セグメント利益又は損失(△)	189,698	△504	189,193	△145,112	44,081

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	189,193
セグメント間取引消去	△2,913
全社費用(注)	△142,198
四半期連結損益計算書の営業利益	44,081

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,139,638	793,334	3,932,973	—	3,932,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	3,084	3,103	△3,103	—
計	3,139,657	796,418	3,936,076	△3,103	3,932,973
セグメント利益	168,156	13,982	182,138	△139,475	42,662

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,138
セグメント間取引消去	△109
全社費用(注)	△139,366
四半期連結損益計算書の営業利益	42,662

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	2,646,811	+14.1
電気・輸送機器向	676,549	△1.7
合計	3,323,360	+10.5

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	3,180,432	+5.5
電気・輸送機器向	815,317	+0.9
合計	3,995,749	+4.5

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	3,139,638	+6.0
電気・輸送機器向	793,334	△2.9
合計	3,932,973	+4.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	687,601	18.2	749,933	19.1

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。